

Q4 市の会場に、何を持って行けばいいですか？

A4 ご持参いただくものは次のとおりです。

申告内容を決め、来場前にチェックリストでご確認ください。

① 所得の計算に必要な書類

<input type="checkbox"/> 源泉徴収票	<u>支払者から受け取ったものすべて</u> 。源泉徴収税額の欄があれば、給与、公的年金、支払調書などの種類にかかわらず、すべてご持参ください。
<input type="checkbox"/> 事業収支	事業(農業・漁業・営業等)の <u>収入と経費が分かるもの</u> (例：JAの集計表、各種領収書)。できる限り、収支を一覧表にしてご持参ください。
<input type="checkbox"/> 収入証明書	収入を証明する書類を <u>すべて</u> ご持参ください(例：生命保険の満期保険金支払明細書)。

② 控除の確認に必要な書類

<input type="checkbox"/> 支払額証明書 (控除証明書)	控除したいものに関する支払額がわかる証明書を <u>すべて</u> ご持参ください。 (証明書例) <input type="checkbox"/> 生命保険料 <input type="checkbox"/> 個人年金保険料 <input type="checkbox"/> 地震保険料 <input type="checkbox"/> ふるさと納税・寄付金 【注意】「ふるさと納税ワンストップ特例」を申請済みの方へ 申告をすると、ワンストップ特例がなかったものとみなされます。 ふるさと納税領収書をすべてご持参ください。
<input type="checkbox"/> 医療費控除の明細書 ※医療費を、控除基準額より多く支払い、控除の対象となった場合でも、市・県民税の税額に影響しない場合があります。	医療費控除を申告する場合は、 <u>医療費控除の明細書</u> と根拠資料(領収書や医療費通知)をご持参ください。 <u>【根拠資料のみ持参の場合】会場待合室で医療費控除の明細書を自作(手書き)いただいた後、申告を受け付けます。医療費通知を使わない場合は特に、領収書の仕分け集計に時間がかかる場合がありますので、作成例を参考に自宅で明細書を作り、ご持参ください。</u> Q. <u>医療費控除の明細書</u> とは？ A. 令和7年中に支払った医療費を、人(受診者)・病院・薬局などに分けて集計した一覧表のこと(様式任意・手書き可) <div><div>作成例</div><div>医療費支払者 さぬき太郎 合計15万円 (内訳) ①医療費通知分 計2万円 ①以外 ②さぬき太郎：A病院4万円、B病院1万円 計5万円 ③さぬき花子：A病院4万円、D薬局4万円 計8万円</div></div>
<input type="checkbox"/> 障害を証するもの	障害者控除を申告する場合は、障害の内容・等級を証明するものをご持参ください。(例：障害者手帳、療育手帳)

③ 個人番号・身元確認ができるもの

<input type="checkbox"/> マイナンバーカード ※身元確認書類不要
<input type="checkbox"/> 番号確認書類(通知カードなど) + 身元確認書類(運転免許証など)

いずれか

④ 本人名義の金融機関の口座番号がわかるもの

※確定申告(還付申告)をされる方のみ。

【市・県民税申告納税相談に関する質問・相談】

税務課 ☎(087)894-1118

※2月16日以降は個人住民税担当者が相談会場に入るため、回答が遅れる場合があります。お早めにお問い合わせください。

